

# 令和元（平成31）年度障害者支援施設静心園事業報告書

障害者支援施設静心園は利用者本位の支援の提供を基本としサービス管理責任者による個別支援計画の策定および定期的な見直しにより利用者様の自己決定を尊重し利用者様一人ひとりの支援計画に基づいたサービスの提供に努めました。また、介護職員を対象とした喀痰吸引等第三号研修機関としての研修の実施や、不審者等の侵入を防ぐ対策として防犯訓練・研修を実施しました。利用者様の人権および尊厳を守るため障害者支援施設静心園虐待防止・権利擁護ガイドラインによる人権侵害防止への取り組みや施設における身体拘束廃止および緊急やむを得ない場合の解除に向けた介護方法を検討し安心・安全かつ良質なサービスの提供と利用者様との信頼の向上に向けて取り組みました。利用者様一人ひとりその人らしい生活を支援することを目的として、「平成31年度社会福祉法人けやきの村事業計画」に基づき、それぞれの事業および分野で次の各項目にそって事業を実施しました。

## 1. 運営管理及び諸会議

- (1) 施設は、利用者の立場に立った施設支援を提供することを目標に次の整備を行いました。
  - ① 厨房用スチームコンベクション更新
  - ② 施設内照明器具一部LED化工事
  - ③ スプリンクラー設備増設工事
  - ④ 介護ベッド更新2台（年次計画）
  - ⑤ リフト付軽自動車の購入
  - ⑥ パソコン一式リース契約
- (2) サービス提供の主体として、利用者の選択に十分応えることができるよう、サービスの質の向上を図るため「障害児・者のサービス共通評価基準」をもとに自己評価を行いました。
- (3) 個別支援計画作成会議を開催し、利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活を送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めました。  
個別支援計画作成会議開催回数；38回  
個別支援計画作成対象利用者；57名
- (4) 施設の適正な運営及び行事等の計画立案のため職員会議を開催しました。  
職員会議開催回数；9回
- (5) 公正・公平な事業運営と利用者のサービス選択に資するため、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表及び事業報告書等の開示を行うとともに、法人機関紙として「けやきの村便り」を3回発行しました。
- (6) 福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を汲み上げ、利用者施設が対等の関係を築くとともに、利用者本位の福祉サービス提供を実現するために苦情解決体制の推進を図りました。詳細については、「3. 苦情への対応について」を参照。  
苦情受付件数；0件
- (7) 利用者が施設において安心、安全な生活を送れるよう、ヒヤリ・ハット報告による未然防止及び事故が発生した場合の再発防止に努めました。詳細については、「4. 事故防止について」を参照。  
ヒヤリ・ハット・事故報告件数；228件
- (8) 職員の研修会への参加については、福島県社会福祉協議会研修センター主催の研修会を中心に参加し資質の向上に努めました。  
参加した外部研修会

|                     |     |     |
|---------------------|-----|-----|
| ① 県社協研修センター主催による研修会 | 19回 | 20名 |
| ② 身障協関係主催による研修会     | 3回  | 11名 |

③その他研修会 10回 14名

参加した内部研修会及び勉強会

①法人主催 研修会 5回 34名

② // 普通救命救急講習会 2回 6名

③施設主催 研修会 13回 162名

介護職員等によるたんの吸引等の研修関係

①特定の者対象の研修 2回 30名

(9) 令和元年度福島市障がい者週間記念事業の実務担当者として2名の職員が参加し、啓蒙活動及び「ふれあいの集いスタッフ」として関わりました。

(10) 中野地区展覧会の実行委員として企画・運営に参画し、地域活動を支える団体としてその一翼を担いました。

(11) 中野小学校のPTCAに参加し、小学校の行事スタッフとして関わりました。

(12) 中野地区大運動会共催団体として、参加しました。

●評価と課題

施設整備については、整備計画とおり更新または工事を完了することが出来た。また、検討事項でもあったリフト付き軽自動車については馬主協会からの補助により年度内に購入することができ通院介助等、業務の省力化に大いに役立っている。次年度については、利用者様へのサービスの向上のため、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま給食を提供することが出来る温冷配膳車を補助金等活用し整備していきたい。

職員の外部研修については、研修計画に沿った形で概ね参加出来、職員の専門性や資質のレベルアップに繋げることが出来た。課題としては、次年度新型コロナウイルス感染症予防のため各研修会が中止となり参加回数、人数が大幅に少なくなることが予想される。

地域貢献・地域との繋がりにおいては、複数の行事に共催または、スタッフとして参加出来たが、今後コロナウイルスの関係で各行事の中止が予測されるためこれらに代わる地域との繋がりも模索していきたい。

2. 利用者へのサービス提供について

(1) 生活支援

①利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活が送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めるとともに、適切な時期にモニタリングを行い、利用者の実情に沿った計画の見直しなど、きめの細かいサービス提供に努めました。

②きめの細かい個別支援の提供のため、利用者の状況をできるだけ詳細に記録することに努め、個別支援計画作成やモニタリングに際して貴重な記録となりました。

③防火管理上の安全を図るため、機械室・調理室・洗濯室の火気・電気設備の自主点検を実施しました。

④利用者の身体的機能の維持及び向上を図るとともに、安全で安心できる環境を整え、一人ひとりがその人らしく生活を楽しめるよう個別支援を実施しました。

(2) 各種訓練等の実施

①介護外出

ニーズ別介護外出 (23回実施 延べ48名参加)

買物支援外出 (8回実施 延べ19名参加)

②余暇活動

介護散歩 (8回実施 延べ 15名参加)

カラオケ (48回実施 延べ 1177名参加)

ビデオ上映 (42回実施 延べ 975名参加)

わくわくデー (8回実施 延べ 292名参加)

- クラブ活動；園芸クラブ (4回 延べ 74名参加)
- 創作クラブ (5回 延べ129名参加)
- 調理クラブ (5回 延べ180名参加)
- 文芸クラブ (2回 延べ 54名参加)
- レクリエーションクラブ (3回 延べ108名参加)
- レクリエーション支援 (2回 延べ 76名参加)
- 「福祉レクリエーションネットワーク in ふくしま」
- ③ボランティアの受入
  - \*福島市民オーケストラ演奏会 (1回 45名参加)
- ④お盆休暇・年末年始休暇の帰省状況
  - お盆休暇 (8月13日～ 8月16日) 11名
  - 年末年始休暇 (12月29日～ 1月 3日) 5名
- (3) 父兄参加・地域開放行事の実施
  - ①施設主催花見会 (4月20日) 利用者49名、父兄27名、町内会等7名
  - ②施設主催納涼祭会 (7月24日) 利用者47名、町内会等9名
  - ③法人主催納涼大会 (8月8日) 利用者3名
  - ④けやき祭 (9月29日) 利用者43名、父兄16名
  - ⑤施設主催芋煮会 (10月19日) 利用者46名、父兄26名、町内会等6名
- (4) 対外行事への参加
  - ①三井流舞踊感謝大会 (4月7日) 利用者3名
  - ②中野小学校児童鼓笛隊パレード見学 (5月10日) 利用者3名
- (5) 対外作品展への出品
  - ①福島市福祉作品展出品 (12月7～9日)
    - 個人 (5名、5作品) 団体 (2グループ、3作品)
  - ②中野地区展覧会出品 (2月1～2日)
    - 個人 (6名、6作品) 団体 (2グループ、3作品)
- (6) 機能訓練
  - 週5日 (月～金) で220日実施
  - 延べ参加利用者人数；1630名
  - 1日平均人数 ; 7.4名
- (7) 集団リハビリテーション
  - 週3回 (火、水、金) で80回実施
  - 延べ参加利用者；1145名
  - 1日平均人数 ; 14.3名
- (8) 健康管理
  - ①健康診断の実施
    - 第1回実施期間；令和元年 5月 受診者数；49名
    - 第2回実施期間；令和元年12月 受診者数；49名
  - ②結核検診
    - 実施期間；令和元年 7月 受診者数；50名
  - ③体重管理
    - 体重測定；12回実施
  - ④血圧測定；毎月実施
  - ⑤嘱託医出務；週1回
  - ⑥入院の状況
    - 延べ入院者数；13名 (実人数6名) 平均入院期間；34.0日間
  - ⑦口腔ケア対策
    - 口腔ケア、及び、歯科治療 回数；263回
  - ⑧インフルエンザ予防接種 (46名実施)

### (9) 給食状況

- ①嗜好調査の実施（11月28日～12月13日）
- ②給食委員会の開催；12回（毎月1回）
- ③選択メニューの実施回数；51回
- ④バイキングメニューの実施回数；5回
- ⑤治療食等の実施；糖尿病食0名
- ⑥刻み食の実施（超刻み食3名・刻み食12名・硬い物一口大8名・ミキサー食4名）

#### ●評価と課題

余暇活動については、普段外出する機会が少ない利用者様が多いなか、介護外出や買物支援外出はたいへん喜ばれている。また施設内では、主にゲームなどを行うわくわくデーは参加賞を設けるなど利用者様が本当に楽しめることを念頭に企画しており、参加人数も多く好評である。その他カラオケ、ビデオ上映、各クラブ活動と充実した余暇活動を提供出来ている。

対外行事への参加については、利用者様が地域や社会との関われる機会であり出来るだけ多くの方に参加していただきたいと考えているが、市障がい者スポーツ大会は中止に、中野地区運動会はグランドコンディションのため不参加となった。今後は、地域の小さなイベントにも利用者様が参加できる機会を増やしていくことを検討したい。

機能訓練については、利用者様の要望やニーズに合わせたリハビリテーションプログラムを提供することが出来ている。課題としては、リハビリテーションにて行っている練習が日常生活で活かされ、転倒防止やADL・IADL拡大に繋がっているか検討や検証が必要である。

### 3. 苦情への対応について

令和元年度における苦情については、下記のとおりです。

苦情受付件数；0件

利用者友の会（自治会）役員と毎月集まりをもち、意見や要望を聞く機会を多く作っており、毎回役員が利用者の皆さんから集めた声や、役員自らが感じていること、考えていることをたくさん出して頂いて頂いています。利用者様への対応について、安心して楽しく安全に生活していただけるように、職員一同共通の認識を持ち努力しているところです

#### ●評価と課題

苦情件数が0であることは、上記記載のとおり普段から何でも話しやすい雰囲気づくりに努め、また利用者様と職員間において良好な関係が築かれているものと理解しているが、これに慢心せず常に利用者様との会話を心がけ、小さな変化にも気付き、苦情を未然に防いでいきたい。

### 4. 事故防止について

- (1) 避難訓練の実施 ; 年9回実施
  - (2) 通報訓練（法人全施設合同） ; 8月28日
  - (3) 総合避難訓練の実施 ; 7月31日、11月6日
  - (4) 飯坂消防署による立入査察 ; 7月12日
  - (5) 防災講座；講師、飯坂消防署員 ; 新型コロナウイルス感染防止のため中止
  - (6) 消防設備の点検 ; 年2回
  - (7) たこ足配線等コンセントの点検 ; 随時
  - (8) ヒヤリケース及び事故報告件数について
    - 事故報告件数 ; 2件
    - ヒヤリケース ; 228件
- ヒヤリケース項目別割合については以下のとおり。

| 項目 | 件数(割合)    |
|----|-----------|
| 誤薬 | 3件 (1.3%) |

|     |                |
|-----|----------------|
| 誤 嚥 | 6件 ( 2. 6%)    |
| 異 食 | 5件 ( 2. 2%)    |
| 転 倒 | 21件 ( 9. 2%)   |
| 転 落 | 28件 (12. 3%)   |
| 衝 突 | 0件 ( 0. 0%)    |
| 外 傷 | 66件 (28. 9%)   |
| 物 損 | 9件 ( 3. 9%)    |
| その他 | 90件 (39. 5%)   |
| 合計  | 228件 (100. 0%) |

利用者様に安全に安心して生活して頂くためヒヤリ・ハット（インシデント）、  
事故報告書によりリスクマネジメント委員会を開催し事故予防と再発防止に努めました。

●評価と課題

避難訓練については、日中、夜間想定、また火災、風水害、土砂災害想定など、発生時間や災害の種類に応じてバリエーションをもって訓練をほぼ毎月実施している。また総合防災避難訓練では飯坂消防署、地域消防団、近隣住民の方にも参加頂き、併せて防災対策協力者懇談会も実施している。飯坂消防署による立入検査では、ケアコーナーにスプリンクラー未設置という指摘を受けスプリンクラーヘッド増設工事を行った。課題としては、近隣地域住民の方の高齢化が進んでいることである。今後はいかにして火災を起こさないかまた、起きてしまった場合、被害を最小限に止めるためにどのようなことをすべきか検討していきたい。

ヒヤリハットについては、件数は前年比 1 割強増えている。ヒヤリハット報告は、大きな事故を未然に防ぐために出来るだけ多く出してもらい、その都度再発防止策を検討している。課題としては、誤嚥の件数が前年度 1 件に対して 6 件と増えている点である。原因をもう一度精査して再発防止に努めていきたい。

5. 施設の利用状況

入所者（定員50名）

|     | 月初めの<br>現 員 | 在 籍<br>延べ日数 | 外泊・入院<br>延べ日数 | 延べ実利用<br>日 数 | 利用率   |
|-----|-------------|-------------|---------------|--------------|-------|
| 4月  | 50人         | 1,487日      | 9日            | 1,478日       | 98.5% |
| 5月  | 50人         | 1,545日      | 23日           | 1,527日       | 98.5% |
| 6月  | 50人         | 1,500日      | 5日            | 1,495日       | 99.7% |
| 7月  | 50人         | 1,528日      | 49日           | 1,494日       | 96.4% |
| 8月  | 49人         | 1,519日      | 134日          | 1,385日       | 89.4% |
| 9月  | 49人         | 1,449日      | 75日           | 1,374日       | 91.6% |
| 10月 | 48人         | 1,445日      | 45日           | 1,437日       | 92.7% |
| 11月 | 47人         | 1,442日      | 27日           | 1,423日       | 94.9% |
| 12月 | 49人         | 1,473日      | 45日           | 1,452日       | 93.7% |
| 1月  | 48人         | 1,489日      | 44日           | 1,469日       | 94.8% |
| 2月  | 50人         | 1,422日      | 49日           | 1,401日       | 96.6% |
| 3月  | 50人         | 1,515日      | 42日           | 1,506日       | 97.2% |
| 平均  | 49.2人       | 1,485日      | 45.6日         | 1,453日       |       |

短期入所者（定員1名）

|     | 月初めの<br>現 員 | 在 籍<br>延べ日数 |     | 月初めの<br>現 員 | 在 籍<br>延べ日数 |
|-----|-------------|-------------|-----|-------------|-------------|
| 4月  | 1人          | 30日         | 11月 |             |             |
| 5月  | 0人          | 4日          | 12月 |             |             |
| 6月  | 1人          | 3日          | 1月  |             |             |
| 7月  |             |             | 2月  |             |             |
| 8月  |             |             | 3月  |             |             |
| 9月  | 0人          | 2日          | 合 計 | 2人          | 39日         |
| 10月 |             |             | 平 均 | 0.2人        | 3.3日        |

●評価と課題

入所者の利用率は前年度と比較して1.5%減であった。理由としては、欠員後の次の利用者様が入所するまでの期間が長かったこと。また長期に入院されていた利用者様が複数人おられたことが挙げられる。今後は、普段から待機申請者と定期的に連絡をとり状況を把握しておくことも必要と考える。また知的障害者の他施設ともコンタクトをとり当施設の待機申請者となり得る障害者の把握も検討していきたい。

短期入所の在籍延べ日数平均も前年度と比較し大幅に減となった。今後は各相談支援事業所等や関連機関にも連絡をとり短期入所者確保に努めていきたい。